

かもめ会だより

□2021年9月8日 精神保健家族勉強会開催のお知らせ

今回の家族勉強会（荏原保健センター主催）は、9月8日（水）13時30分より「福祉サービスについて」の講演会です。

荏原保健センター（品川区荏原2-9-6）2階多目的室で開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

参加希望の方は、荏原保健センター☎3788-7016までお電話ください。

□2021年7月14日 精神保健家族勉強会報告

今回のテーマは「精神科の薬について」でしたが、緊急事態宣言の影響で講師が来られなくなったため、急遽「懇談会」を行いました。参加者は14名でした。（急なご連絡になってしまったにもかかわらず、ご理解いただきありがとうございます。）

前半は、皆さんからいただいた質問に対して薬剤師会加藤会長の回答を読み合わせ、それをもとに意見交換を行いました。質問は、血液検査が必要な薬、断薬と減薬の可能性、向精神薬を服薬するときの注意点などでした。皆さんから「基本的なことは調べて知っているため、具体的な副作用が知りたかった」「副作用は人それぞれだから子どもに直接聞いたほうがわかる」「（当事者で）向精神薬を飲む大変さを分かってほしい」などの意見が挙がりました。直接薬の専門家に聞きたいことが多い印象でしたので、また薬剤師の先生をお呼びする機会を設けたいと思います。

後半は、参加者間での情報交換・近況報告を行いました。新型コロナウイルスのワクチン接種について：「主治医に相談したが分からないといわれ迷っている」「入院先で接種し終えた」等、今後の生活について：「家族も高齢で親亡き後が心配、今のつながりを大切にしたい」、「（当事者で）独居のため今後の生活が不安だが、家族会でつながれてよかった」などの意見が聞かれました。また、家族勉強会のテーマについても、親が高齢となってきているので、今後の生活について考えられるテーマが良いなど意見がありました。皆様の意見をもとにテーマを考えているので、今後も寄せていただければと思います。

まだ新型コロナウイルス感染が蔓延している状況ですので、急なテーマ変更や時間変更があると思われませんが、今後ともよろしく願い致します。（変更する場合はご連絡します）

（以上は荏原保健センター黒川保健師さんから原稿をいただきました）

かもめ会の2021年要望メモ

かもめ会では毎年夏に区役所や区議会の主要各会派（自民、公明、共産、生活ネット等）と懇談会やヒアリングを行っています。以下にかもめ会の今年の要望を掲載いたします。このほかにも追加のご意見がある方は03-3458-6908まで連絡をお願いいたします。

品川区議会への要望

2021年7月16日

- 要望1 精神病院を退院後に社会復帰する方々の住まいが少なく品川区の精神障害者の社会的入院を助長する原因の一つとなっている現状です。精神障害者が地元で暮らし続けるためのグループホームを更に増設してください。
- 要望2 施設入所者の地域生活への移行を計画の成果目標どおりに進めてください。第6期品川区福祉計画の(2)区の成果目標にあるように前期計画の未達成分4人を追加し10人を令和5年度末までにふるさと品川に帰してください。そのためにも障害者が地元で暮らし続けるためのグループホームを更に増設してください。
- 要望3 区内に精神障害者対象のグループホームその他施設がオープンする際は、可能ならオープン前に情報を、それが難しい場合はオープン後早期に開所情報をもかもめ会までお知らせください。区ホームページの「障害のある方のための施設」のリストが都度更新されますが、会員も日々障害のある息子や娘の対応に追われ、見落とすことも起こりがちです。会員は皆オープン情報を心より待ち望んでいます。ぜひ開所情報は早期にかもめ会までお知らせください。
- 要望4 グループホームは増加していて感謝しております。しかし広さにゆとりがない居室が多くなっているため気が詰まってしまう精神の当事者も多いため12平方メートル程度の居室スペースを確保していただくようお願いいたします。
- 要望5 区内在住の精神障害1級者に障害者福祉手当（月8500円）の支給をいただき有効活用されている現状ですが、精神障害2級者に対してもいくばくかの手当を支給してください。
- 要望6 昨年度戸越公園駅近くに開設された「まるまる荘品川宿」の人气がアップしているようです。当事者が昼間ストレスなく過ごして社会復帰につなげる自立訓練事業所を品川の各地域に増設していただくようお願いいたします。
- 要望7 令和5年度から高校の新学習指導要領の保健体育に「精神疾患の予防と回復」の項目ができますが、品川区の小中学校で東京都発行の「こんなとき、どうしたらいいの?」のようなパンフレットを利用して義務教育年齢の子供たちにも精神障害につ

いての知識を広げる授業を品川区独自の施策として行ってください。

要望 8 品川区はサポート 24 という区独自のサービスを単身の精神障害者を対象に実施しています。この制度を拡充しすべての精神障害者を対象としたアテンダントサービスに拡充していただくようお願いいたします。

要望 9 品川区障害児者総合支援施設ぐるっぽ内にある日本精神看護協会の青物横丁クリニックの成人を対象とした診療を早期に開始するようお願いいたします。またクリニックに併設される予定の精神科デイケアについても早期の開設を促すようお願いいたします。

要望 10 品川区の新庁舎計画内に障害者総合支援施設を合築して障害者が身近に感じることのできるバリアフリー、インクルーシブ、インクルージョン施設としてください。

要望 11 新型コロナウイルス感染症に対応するワクチン接種を多くの会場やクリニック等で進めていただき感謝しております。また精神障害者 1 級者にタクシー利用の可能な商品券（2000 円分）を配布していただきありがとうございます。品川区障害児者総合支援施設ぐるっぽでのワクチン接種も始まっております。注射時にパニックを起こす可能性のある障害者を対象にぐるっぽでの落ち着いた環境でワクチン接種ができるよう、障害者専用の予約接種日を設けていただくようお願いいたします。

要望 12 かもめ会員の皆さんの平均年齢も毎年確実に増えて来つつあり、8050 問題が現実のものになってきています。介護を受けなければならない年齢の父母が本来なら手助けしてくれるような年齢の息子や娘の炊事や洗濯、掃除をなんとかこなしています。親がある一定の年齢に達したら精神障害者の生活の手伝いを自治体においてできる制度を考えてください。

要望 13 引き続き精神障害者地域生活支援センターの増設を要望いたします。

要望 14 30 年以内に 70% の確率で発生すると予測されている大震災を想定して福祉避難所を開設する防災訓練を実施してください。パニックを起こしやすい精神障害者が落ち着いて避難できる福祉避難所のあり方を研究し、東京防災等のパンフレットの障害者対応のページを増やしてください。

都議会への要望

1. 廃止になった東京都障害者扶養年金制度を復活してください。民間の制度もできていますが公的な補助を加えた制度を再度整備してください。
2. 精神障害者とその家族が都営住宅の抽選に受かる確率を上げる等優先枠を設けていただけるようお願いいたします。また単身の精神障害者も申し込めるようにしてください。障害者単身枠を 60 歳未満でも申し込めるようにしてください。

3. 精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者はマル障が適用となり医療費の自己負担がなくなっています。しかし 2 級者や 3 級者については自立支援医療の利用者が多く精神医療については自己負担がないものの、それ以外の疾病について 3 割負担であるため負担感が強く感じられています。1 級者とのバランスを考えて 2 割負担または 1 割負担に軽減するように要望いたします。

国会への要望

1. 全国の精神病院での身体拘束が増加しており問題になっております。精神科特例もあり医師や看護師の手が足りないことも身体拘束の原因になっております。精神科特例を廃止し医療者の定員を通常の医療と同等にしてください。
2. 身体、知的、精神の 3 障害のうち精神障害者にだけ交通運賃の割引が適用されていない現状があります。障害種別での差をなくしすべての障害者を平等に扱うようにお願いします。

かもめ会の要望を反映した品川区の新施策に感謝いたします

お礼 1 かもめ会では 2019 年度に「当事者会やかもめ会も地域自立支援協議会の委員に加えてください。」と要望いたしました。おかげさまでかもめ会の会長が地域自立支援協議会の委員に採用されました。ありがとうございます。

お礼 2 かもめ会では 2019 年度に「精神障害者の相談に対応する地域生活支援センターは品川区内に 1 か所 (たいむ) のみで著しい不足が発生しているため至急に新增設していただきたい。」と要望いたしました。おかげさまで昨年度中に精神の患者さんも選択可能な相談窓口 (指定特定相談支援事業者) を、たいむ、げんき、インクル南品川と 3 か所に増やしていただきました。ありがとうございます。

